



環境パスポート

対象

小学校 1 年以上

ねらい

自分の生活を含めた身近な環境に目を向け、生活環境の向上と、ひいては地球環境に目を向けられる素地を養う。

日常の活動

児童の活動	教師の指導・支援
<p>一人一人の活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 環境パスポートの記入：学年・組・名前を記入する。・ 自分の写真を貼る。無ければ似顔絵もよい。・ 環境に良いと思われる活動をおこない、それを申告する形を取る。・ このとき家族・先生・友達から承認のサインやコメントをもらう。・ 自らも友達の活動の証人になる。 <p>発行の部分も係を決めて、記入活動を任せるのも良い。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 写真の部分は、教師が似顔絵を描くと、関心を喚起できる。また、デジカメなどを使って同時期に全員の写真をとり、出力して渡すのも良い。・ 対象となる活動に対して、承認のサインやコメントがある項目に対しては、証明のシールやスタンプを押し、増えていく喜びを得られるようにする。・ 小さなことでもアピールするように指導する。・ クラス全体が証明のスタンプなどを得られる機会を作るよう配慮したい。

参考

- ・ 対象となる活動の部分は、児童によってできる内容が異なるので、自分で言葉や絵などを入れて楽しく自由を作るよう指導する。
- ・ 1枚のパスポートにたくさんの項目を入れていくより、パスポートの更新をすることで、自分でできることが何かを考え（枚数を）増やしていく方が励みになる。